

3・10

# 東日本大震災かながわ追悼の夕べ



15年です。

東日本大震災・東電福島第一原発事故…。

あのとき生を受けた子どもたちは、中学2年生。

還暦を迎えた大人たちは、「後期高齢者」になりました。

イルミネーションが街を照らし、

グルメに歓声をあげる映像があふれています。

降り積もったセシウム137の汚染は、まだ4分の3以上残っています。

寒風の中、横断幕を掲げ、「再稼働は止めて」と叫ぶ人々がいます。

まだ、『ふるさと』を歌えないままのお年寄りもいます。

がれきの山の中、赤ちゃんの遺体を抱え泣き叫ぶ母親もいます。

15年。

何が起き、どうなり、どうなっていくのでしょうか。

癒えない痛みを胸に、今を生きる現実に想いを馳せ、

来し方、行く末を、静かに考えるひと時を共にしましょう。

2026年 **3月10日(火)** **参加無料**

● **横浜市役所 1Fアトリウム キャンドルステージ**

15:30 受付開始／キャンドル点灯 (約千本のキャンドル灯火)

**追悼の夕べ**▶ 16:00 開会／被災地からの映像／ステージトーク／  
避難者のお話／黙祷／祈りの歌～19:00 頃終了

**3.10 追悼展**▶ 3月6日(金)12:00～11日(水)アトリウム 1F展示スペース  
「おれたちの伝承館から」中筋 純 (写真)、山内 若菜 (絵画)、青田 恵子 (詩・布絵) 他  
「福島原発かながわ訴訟原告団から」避難者たちの権利回復への闘いの軌跡  
※10日当日は 1F 市民協働推進センターでも展示があります。

上/「神々の草原トリニティ(部分)」  
3.11以降、核や放射能、原発をテーマに描き続ける山内若菜さんの3m×9mの大作を展示します。昨年3月にはニューヨーク国連本部での核兵器禁止条約締約国会議でも彼女の作品が展示されました。

下/カテリーナ(祈りの歌)  
生後30日でチェルノブイリ原発事故に遭遇。ウクライナ伝統楽器バンドウーラの弾き語り日本で活動中、福島原発事故を体験する。最大の人災=戦争と原発事故の危機下にある故国ウクライナへの想いを歌います。



みなとみらい線「馬車道駅」1C出入口直結  
JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分

**主催**／ 3・10 東日本大震災かながわ追悼の夕べ実行委員会

構成団体：「避難の権利」を求める全国避難者の会・かながわ、同サポーターズ、福島原発被害者支援かながわ弁護士団

●後援(順不同)／神奈川県、福島県、岩手県、宮城県、横浜市、小田原市、川崎市、平塚市、藤沢市、横須賀市、神奈川県弁護士会、神奈川県司法書士会、朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、毎日新聞社横浜支局、tvk、、マリンFM

●連絡先 TEL:045-662-7126 (馬車道法律事務所/黒澤)

E-mail : sirogane999@gmail.com

# 東日本大震災かながわ追悼の夕べ 2026

今年で12回目の3.10追悼の夕べ。原発事故で奪われた鳥獣草木や人々のいのち、ふるさと、そして避難した人々の想いに寄り添う場を作り続けてきました。今年には福島県浪江町津島地区から三瓶春江さん、横浜から津島に嫁いで暮らされていた石川ひろみさんのお2人と、南相馬市小高区出身の白川ケイ子さんが参加。キャンドルステージでは篠笛奏者の村山二郎さん、祈りのコンサートにはウクライナの歌姫カテリーナが出演します。また、6日～11日まで設営されている展示スペースでは、この15年間を振り返る資料展示や、小高区に創られたアートで事故発災の経験を繋ぐ「おれたちの伝承館（館長・中筋純さん）」の作品展示もあります。この機会に、是非、横浜市新市庁舎までご参集ください。

## 【進行予定】 ※敬称略

15:30～受付開始（名簿記入の後、キャンドル配布／キャンドル配置）

16:00～追悼の夕べ開始

16:07～篠笛演奏（村山二郎）

16:30～ステージトーク（石井ひろみ、三瓶春江、白川ケイ子、村田弘、黒澤知弘）

《休憩15分》

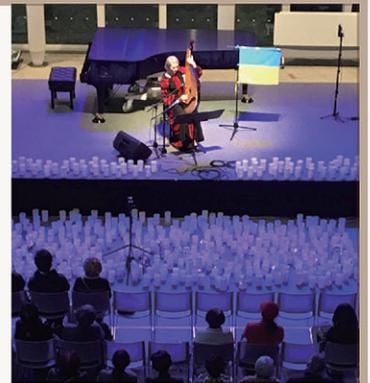
17:35頃～追悼式典

避難者のお話／黙祷

18:00～祈りのコンサート（カテリーナ）

18:55 閉会の辞

※なお、展示スペースは3日6日（金）12:00～11日（水）18:30まで開催しています。



キャンドルステージで歌うカテリーナ

## ●出演者

石井ひろみさん（ふるさとを返せ！津島訴訟副団長）

21才の時に石井家18代目に当たる光雄さんと結婚し、横浜市から浪江町津島地区に移り住む。以来、津島を故郷と思い定めて暮らしてきた。築150年のわが家の解体の前に、「ふるさとの証をこのまま消されたくない。津島を取り戻したい」と訴える。



三瓶春江さん（ふるさとを返せ！津島訴訟原告）

津島の開拓農家育ちで24才の時、南津島の三瓶章陸さんと結婚。「津島の生き字引」と呼ばれた義父、陸さんは郷土史研究者で、陸さんは「20歳ほど若ければ、俺がやりたかった。悔しい。だから春江、俺の分までがんばれ！」と春江さんの背中を押してくれたという。



白川ケイ子さん（現在、町田市在住）

南相馬市小高区から避難してきた村田弘さんの元隣人。自宅美容院で1993年頃から始めたクリスマスイルミネーション（電飾）が小高でブームとなり、バスツアーまで催行されるようになっていた。現在は、子どもたちを相手に、避難体験も含む読み聞かせの活動をしている。



山内若菜さん（画家）

神奈川県生まれ。「原爆の図丸木美術館」「平塚市美術館」など各地で展示。福島の牧場への取材後、中・高・大学校で命の授業として移動型展示講演会を継続。2021年東山魁夷記念日経日本画大賞入選。2025年広島バグウォッシュ会議にて会場絵画展担当。「おれ伝」天井画を描く。著書に「いのちの絵から学ぶ」彩流社。



村山二郎さん（篠笛奏者、ミュージシャン、日本犬愛好家）

横浜生まれで「鼓童」のメンバーとして1989年にプロデビュー。`91年に縄文・自然・祭りをテーマにした自己バンド「レブンカムイ」を結成し、独自の和洋楽器混成スタイルを確立。伝統芸能の伝承と社会運動と自身の活動の接点を大切にしながら活動している。



カテリーナ（歌、バンドウーラ）

生誕30日後にチェルノーベリ原発事故に遭遇。22才から日本で活動し、一児の母として福島原発事故を経験する。戦禍にある故国ウクライナの人々に、コンサート収益で支援物資を送りながら全国で活動している。著書に『ウクライナ女性の美しく前向きな生き方』『カテリーナの伝えたい5つのこと』『戦争が始まって2年—あなたは2月24日を覚えてますか？—ふるさととはウクライナ（絵本）』など。



山内若菜作「ひめ丸 唇」



## 追悼の夕べにつらなる人々

●賛同団体（50音順）一般社団法人 神奈川人権センター／NPO 法人寿クリーンセンター／NPO 法人さんわーくかぐや／NPO 法人かながわ避難者と共にあゆむ会／原子力市民委員会／NPO 法人精神保健を考える会まいんどくらぶ／NPO 法人みんなのデータサイト／核戦争防止神奈川県医師の会／神奈川県保険医協会／公益財団法人横浜 YMC A／公益財団法人横浜 YWC A／寿越冬実行委員会／寿炊き出しの会／週刊金曜日を応援する会・神奈川／生活クラブ生活協同組合・神奈川／switchbox あけ/たて/脱原発市民会議かながわ／チームみつばち／日本基督教団神奈川教区／日本基督教団神奈川教区なか伝道所／日本基督教団神奈川教区寿地区センター／日本聖公会横浜教区／認定NPO 法人 WE21 ジャパン／認定NPO 法人 WE21 ジャパン・こうほく／福島原発かながわ訴訟原告団／福島原発かながわ訴訟を支援する会／福島子ども・こらっせ神奈川／ぶんぶんトークの会／八峰村／勇気野菜プロジェクト／横浜シティユニオン／和光大学映像制作研究ゼミ  
司会協力：寺澤 京子

この祈りの場は皆さまのお志で運営されております。ご寄付の振込先は以下となります。

郵便振替 口座番号 00260-1-87578

名義：「3.10 東日本大震災かながわ追悼の夕べ」実行委員会